

耳をすまして…
傾けて…

聞いてみてください!

おなまえ

才 月

幼児のつぶやきに 耳を傾けよう 会話を楽しもう

— 幼稚園で・家庭で・地域で —



全国国公立幼稚園長会

親子で読み聞かせを楽しみましょう

幼い子どもとの絵本の楽しみは、子どもをひざに乗せ、または隣に座らせ肌を触れ合いながらの読み聞かせです。子どもはお父さんやお母さんの声を通してぬくもりを感じています。絵本を楽しみながら愛情も受け取っています。子どもは絵本の主人公と一緒に旅に出かけ、わくわく、どきどき胸を躍らせ空想の世界に飛び立ちます。他人の心の痛みや喜びを自分の事のように受け止められる柔軟さは、心も体も伸びていくこの時期にこそつくられるのだと思います。

長野おはなしの会・おはなし畑 崎山 洋子

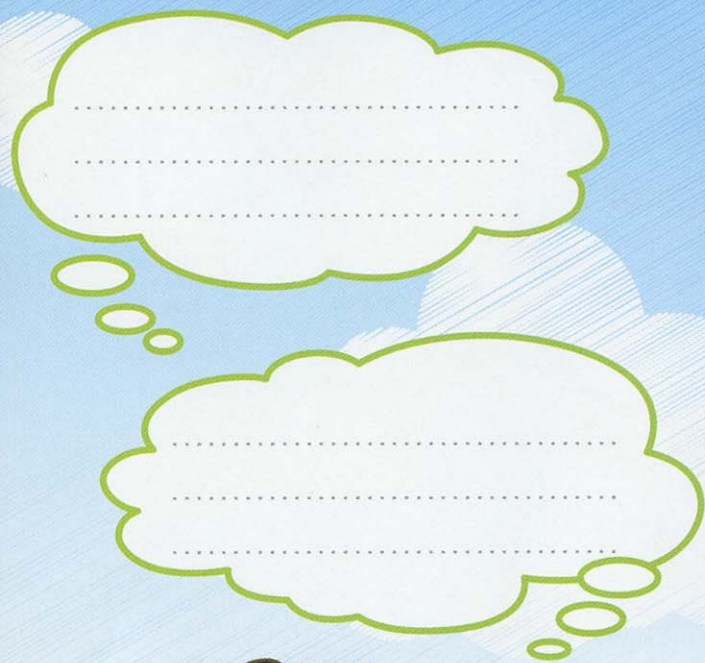
読み聞かせのポイント

- ◆ 親自身が読むこと、読んでもらうことを楽しみましょう。
- ◆ 無理せず、子どものペースに合わせて読みましょう。
- ◆ 冊数の多さではなく、気に入った本は何度でも読みましょう。



読み聞かせに関する詳しい内容は
文部科学省のホームページにも掲載されています。
「子ども読書の情報館」を検索してください。

発行日：平成24年8月31日 編集発行：全国国公立幼稚園長会



子どもの
ささやき つぶやき
感激した言葉

子どもの言葉は成長とともに変化していきます。様々な場面や時期を捉え、お子さんの言葉を吹き出しに書きとめてみましょう。言葉の変化やお子さんの様子など貴重な成長記録にもなります。大人になった時に、そっと開いて幼い日をたどってみる…、そんな“宝物”になればと願っています。

さあ、親子で中のページを開いてみましょう。

平成23年度、全国国公立幼稚園の保護者・教員約2300名を対象に「子どもの言葉に関する実態と意識についての調査」を実施しました。

全国国公立幼稚園の保護者・教員に聞きました。

- ◆ 言葉や表現・行動の仕方
- ◆ 会話をするとき、心がけていること
- ◆ 豊かな言葉は「<む>のために大切にしていること
- ◆ 豊かな言葉は「<おむ>に大切にしていること
- ◆ かわり方で難しいと感じていること
- ◆ 絵本や読み聞かせで大切にしていること
- ◆ 家庭や幼稚園に希望すること
- ◆ 入学後の学習や生活への影響について

アンケート調査についての詳細は、
国公幼ホームページをご覧ください。
<http://www.kokkoyo.com>

保護者の揺れる気持ちが見えてきました。

子どもの言葉に、問題意識もっているか…。

ゆったりかわることの大切さはわかってはいるけど… 余裕がないのよね。

文字が読めるようになって、絵本を一人で見ているのだけど、それで良いのかしら…。

あいさつはできるけれど、時々乱暴な言葉をつかうのよね。子どもの言葉、気になるわ…。

様々な体験が豊かな言葉は「<み>ます。子ども自身がか心を動かして、様々な体験を積むことから豊かな言葉は「<ま>れます。

聞<・話す 伝え合う体験

様々な人と かわる体験 豊かな言葉 心に響く

様々な体験は、幼稚園・家庭・地域の連携で!

幼児期に豊かな言葉は「<む>のために、子どもたちが遊びや生活を通して様々な人とかわり合い、心が通い合う喜びや伝わらない時のもどかしさなどをいくつも体験しながら、自分の発する言葉の意味を感じ取ることが大切で、それは、場に応じた判断力や想像力をもつて相手との心地よい距離感を身に付けていくことにほかなりません。日常生活の中で、子どもたちの周りには言葉を見つめることで、人と共に生きるうえで大切なことに出会う機会が増えていくことでしょう。

昨年度より実施してきました幼児の言葉に関する調査研究や親子体験型キャンペーン研修会の成果と課題を生かして作成されたこのリーフレットが、幼児期の言語環境づくりとして、各家庭で活用いただければ幸いです。

会長 荒木 尚子

あいつ